

会報

平成 20 年(2008).5.20

HP:<http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel:03-3222-4190 Fax:03-3222-4199

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-9 第2太陽ビル301

発行人：生井榮一

河北省易(い)県文体教育局から

報告が届きました。

河北省易県、授業用椅子机と電子ピアノ
受領報告書

中国宋慶齡基金会 御中

日中国際教育交流協会 御中

2007年7月、宋慶齡基金会の協力のもと、日中国際教育交流協会一行(生井団長以下5名)は、河北省易県塘湖鎮センター校の教育について視察しました。視察の間、一行は、当県及び塘湖鎮センター校の教育を高く評価し、また、当県の教育事業の発展に参考となる意見を提出されました。

視察中、当県塘湖鎮の小学校の授業用椅子机が、古く壊れているものが多いこと、また音楽の教育設備に欠けていることを知り、この方面で協力援助することを決定されました。

2007年10月、塘湖鎮センター小学校に、日中国際教育交流協会より、870セットの授業用椅子机(87300元相当)を、そしてヤマハ楽器を通して、71台のPSR-175電子ピアノキーボード(約80000元相当)を寄贈されました。以上の品物は、2007年12月末までにすでに各小学校に分配しました。

多大なる支持を賜り、私たちは非常に感激しています。これは、当県の教育に対する物質的援助だけでなく、精神的な激励もいただいたと、私たちは感じています。またいつでも、当県に訪問され、ご指導いただけることを願っています。

易県文体教育局

2008年1月

第14次訪中団の成功を！

「易県ではこの電子ピアノを使って 音楽の授業を行います」

今秋予定されている第14次訪中団では、北京市内日本語教育重点学校を訪問参観し、目を見張る高度成長を遂げている原動力となっている発展中国の先進的教育の象徴を学習すると共に、一方で格差が広がり、教育支援を必要としている河北省易県小学校を訪問します。現代世界の象徴的な両側面の学習は、今後の日本の教育にかかわるものにとって大きな示唆となることでしょう。

訪問予定の北京・月壇中学校は日本語教育の先進校として世界的にも有名です。友好になくはならぬ語学教育の実際を視察します。また、易県の学校では、訪中団の音楽教師による音楽の師範授業を行います。こうした交流は協会ならではのものであり、現地からの期待の声が寄せられています。夜には、食事を共にしながら易県の教師たちとの懇談があります。中国の現場教職員の悩みや日本の教育への質問が今から楽しみです。

短い訪問日程ですが、歴史学習としての盧溝橋訪問、オリンピック直後の中国の変貌なども盛り込み、中身の濃い訪中団としたいと考えております。受け入れ団体は、旧い友人、中国教育国際交流協会と新しい友人、中国宋慶齡基金会+易県教育局です。

易県文体教育局からの報告

私たちは非常に感激しています。易県

への来訪とご指導を願っています！

椅子・机870セット&電子ピアノ71台支援に対して



07年7月 協会代表団が撮影した50年物の机。椅子は学校備品ではないため、長期休業中は自宅へ持ち帰った。「想像以上だ」と生井理事長



08年1月 協会の支援で納入された電子ピアノと机・椅子

第14次訪中団参加要項

- ★日時 10月12日～18日(6泊7日)
(成田前泊+北京+易県+北京)
- ★日程 10月12日(日)結団式(成田前泊)
10月13日(月) 成田発—北京(北京泊)
10月14日(火) 北京月壇中学校訪問、
宋慶齡基金会・宋慶齡故居訪問
10月15日(水) 河北省易県学校訪問と交流
10月16日(木) 易県—北京(盧溝橋参観)
10月17日(金) 北京(万里の長城・予定)
10月18日(土) 北京—成田着
- ★内容 北京市月壇中学校の視察と意見交換
宋慶齡故居・宋慶齡基金会訪問
河北省易県支援校の視察と音楽授業
現場教職員との意見交換
盧溝橋記念館視察と万里の長城 他
- ★費用 一人¥330,000(20名予定)
(航空機全日空使用、一人一室)
- ★募集要項をご覧の上、ふるってご参加ください。

今秋★★★★★

宋慶齡基金会 & 易県教育代表団 を日本へ招待

協会は、今秋、中国宋慶齡基金会 & 易県教育代表団を日本に招待することになりました。日本の教職員の懇親と相互の教育事情の交流、意見交換を通して、今後の支援の質を高め、一層の相互理解を図っていききたいと考えています。

日程は11月16日～21日です。17、18の両日、2県で学校訪問、教育交流と懇談、意見交換を行います。19日、秋の京都で日本の伝統文化に触れていただく予定です。

各県には、大変お世話になりますが、未来への教育投資と考え、ご協力をお願いいたします。

公益法人改革検討委員会を設置

3月19日に開催された、第36回理事会、第32回評議員会において、今後の進め方について、公益法人改革検討委員会を中心に進めていくことが決定されました。委員は下記の方々です。

赤岡直人、加藤良輔、黒田文男、前嶋徳男、渡辺泓美、祝迫規之、山中正和 (以上の7理事)



ホームページを開設しました

<http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

☆☆☆お立ち寄りください☆☆☆



主会場の国学振興院

安東自由大学は8月18日～23日

🇯🇵 日韓教育交流の一環として昨年9月、協会は安東自由大学に参加者を派遣し、大きな成果を上げることができました。現地での反響も大きく、安東新聞でも特集記事が組まれました。

今年度は、協会からの参加者の要望も受け入れて、夏休み中の開催となりました。宿泊は、風光明媚な国学振興院です。最終日は500年前の両班(ヤンパン)の宿、安東文化院に宿泊します。また、訪れる機会の少ない史跡、智異(チリ)山に1泊します。第二期を迎えた安東自由大学の特徴は、「東アジアに住む人と人との交流が未来を創る」を合言葉に計画が進んでいます。安東の学校訪問に加えて、儒教文化による礼節学校の体験入学なども体験していただくこととしました。東アジアでの共生の教育の実現をめざして、第二期安東自由大学へふるってご参加ください。

第二期安東自由大学参加要項

- 🇯🇵 日時 2008年8月18日～23日(5泊6日)
(前泊+釜山経由-安東自由大学+チリ山)
- 🇯🇵 日程 8月17日(日) (成田前泊集合)
8月18日(月) 成田—釜山—安東(国学振興院泊)
8月19日(火) 安東自由大学第1日目(同)
8月20日(水) 安東自由大学第2日目(同)
8月21日(木) 安東自由大学第3日目(安東文化院泊)
8月22日(金) 安東—チリ山(チリ山泊)
8月23日(土) チリ山—釜山—成田(帰国解散)
- 🇯🇵 安東自由大学の内容
第1日目 開講式
記念講演「現代社会と儒学」
国際シンポジウム
「東アジアにおけるネットワーキング」
講演「映画を通してみる韓日文化比較」他
第2日目 (選択講座) 子どもとの交流、礼節学校入学
儒学と歴史、農業・環境・地方行政等
第3日目 安東史跡参観(河回村、仮面博物館、民俗博物館、書院他)・現地との交流会・閉講式
- 🇯🇵 費用 一人¥190,000(20名予定)
- 🇯🇵 募集要項をご覧の上、ふるってご参加ください。